

市町村名	多良間村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	イネヨトウかく乱防除事業(フェロモンチューブ)				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ	
担当部署名	多良間村役場	産業経済課	事業実施 年度	平成 25	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチューブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H25~26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	40,000	19,935	19,999	18,089	98,023	
	B. 執行済額	39,994	19,935	19,872	18,089	97,890	
	うち 交付金充当額	13,995	15,948	15,897	14,471	60,311	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.4%	100.0%	99.9%	
執行状況の説明		最終的な執行率は99.9%となり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐため防除を行う。 ・フェロモンチューブ設置:2,987巻	目標	実施	-	-	-	-
		実績	実施	-	-	-	-
	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチューブ設置による防除を行う。 フェロモンチューブ設置対象面積 A=290.8ha	目標	-	実施	-	-	-
		実績	-	実施	-	-	-
	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチューブ設置による防除を行う。 フェロモンチューブ設置対象面積 A=381ha	目標	-	-	実施	-	-
実績		-	-	実施	-	-	
さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチューブ設置による防除を行う。 フェロモンチューブ設置対象面積416ha	目標	-	-	-	実施	実施	
	実績	-	-	-	実施	実施	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐため防除を行う。 ・フェロモンチューブ設置:2,987巻	目標	完了	-	-	-	-
		実績	完了	-	-	-	-
	イネヨトウを防除することで、さとうきびの生産安定と品質の向上を図ることで、地域の農業振興の発展に繋がる。	目標	-	完了	完了	-	-
		実績	-	完了	完了	-	-
	さとうきびの安定生産と品質向上により、農家所得の向上が図れる。	目標	-	-	-	完了	-
実績		-	-	-	完了	-	
さとうきびの安定生産と品質向上が可能な環境の確保	目標	-	-	-	-	完了	
	実績	-	-	-	-	完了	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					H30年度 目標/発現年度	
	さとうきびの安定生産と品質向上の維持	目標	-	-	-	-	収穫量 23,000t
		実績	-	-	-	-	収穫量 24,956t
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・平成25年～平成29年度において、イネヨトウかく乱防除事業を実施し、イネヨトウ被害の軽減に島内全域で取り組んだことにより、平成30年度の収穫量は、24,956tとなり、目標を達成した。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・事業実施により、実施前と比べ被害件数やイネヨトウ頭数の削減が達成されている。このことは誘殺頭数が減少していることから確認出来る。またさとうきび生産量も安定していること、事業実施後3期連続での大豊作となっていることから、この事業実施の成果が現れているものだと考えられる。従来の農業を使用していた防除とは異なり、環境にも優しい防除方法であることから、品質向上にも繋がり、さとうきび島ごとエコファーマーの再認定に至った。</p>			<p>【H30年度】 ・本事業では、イネヨトウの削減することは達成できた。しかしながら当害虫の根絶に至った訳ではないため、引き続き誘殺頭数の調査を行い、適宜農業を活用しての防除に務めると共に、被害軽減を図っていく。</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・さとうきびに被害の多い芽出し頃のイネヨトウ食害による芯枯れを抑制するため、植付時の農業散布、芽出し時期の農業散布を徹底する。また、農業購入に係る農家負担軽減のため、事業活用による補助を実施を検討していく。</p>							